

**私** たちサクラセブンズは、昨年11月に香港と東京で行われた「女子7人制ラグビー」のアジア予選で総合優勝。今回、リオデジャネイロオリンピックで初めて正式種目となる女子ラグビーの出場権を獲得できました。ここ3、4年、年間2000日以上を合宿や遠征で費やし、厳しい練習に耐えてきただけに本当にうれしかったです。

15人制ラグビーの日本代表がワールドカップで南アフリカを破ったことで注目されていますが、私たちも負けてはいられません。セブンズ(7人制

## 7人制ラグビーのスリルとスピードを楽しんでほしい

女子セブンズ日本代表(サクラセブンズ)

# 山口真理恵さん

photograph : 遠藤直次



ラグビーは15人制と同じ大きさのグラウンドでプレーするため、一人ひとりのスペースが広く走る量も全然違います。7分か10分ハーフの短い試合時間は、攻守の切り替えもめまぐるしくスリリング。ランやパス中心のスピーディな展開が魅力です。

### 刺激を受けた本場での経験

私がラグビーに真剣に取り組むようになったのは中学生になってからです。当時、陸上もやっていたからこそその成績を収めていたのですが、ラグビーのほうが自分に合っている気がして専念することにしました。

高校卒業後、本場のラグビーに触れたくてオーストラリアのシドニー大学に留学。ちょうどワールドカップセブンズでオーストラリアが優勝した年で、私も代表メンバーと一緒に練習させてもらい刺激を受けました。何より感動したのは、選手たちが心からラグビー

を楽しんでいること。いろいろなレベルの大会があってチャレンジする機会が多く、1年中試合ができるのはうらやましい環境だと思います。

### 五輪で目指すのは金メダル

ラグビー先進国のオーストラリアやニュージーランドなどは強豪ですが、いま各国の女子セブンズの実力差は少なく、どこが勝ってもおかしくないと思うので、金メダルを狙います。そのためには、挑戦する気持ちを前に出してプレイしていきたいです。

一方、フィジカルの準備も大切なので食生活には気をつけています。ラグビー選手は運動量が多くエネルギーを大量消費するため、食事の量も増やさねばなりません。美容にも健康にもいいと最近話題の「アスリート食」もちょくちょく試してみたり(笑)。とにかく、悔いのないよう準備をして、オリンピックの本番に臨みたいですね。

### Profile ● やまぐち・まりえ

1989年、神奈川県横浜市生まれ。小学校でラグビー\*と出会い、中学時代から本格的に取り組む。横浜立野高校進学後は社会人チームの一員としてプレーするとともに、他校で男子に混じってトレーニングを重ねた。3年生時には日本代表に初めて選ばれ「香港セブンズ」に出場。2009年から約2年間オーストラリアに留学、帰国して以降は代表チームの主力に。ポジションは得点源とされるウィングで、軽快なステップとスピードが武器。女子7人制ラグビーチーム「ラガールセブン」に所属。159cm、58kg。

\*ラグビー…タックルの代わりに、腰につけたビニール製のリボン(タグ)を取り合うラグビーゲーム